

教員名 柏木 千春

企画名
地域コミュニティ活性化のためのカフェ経営(奈良県吉野町)

地域活性化型
住民組織



写真左:厨房の仲間、中:ホールの仲間、右:満席に近い店内

企画・活動概要

高齢化の進む限界集落(奈良県吉野町山口地区)にて、人と人とのつながりを創造するカフェを開く地域活性化プロジェクト。2015年から柏木ゼミの提案により開始。今年で5回目を迎える。

プロジェクト期間:4月第2週(月)~7月8日(最終講義)
店の営業:7月6日(土)10:00~17:00
7月7日(日)10:00~16:00
*7月5日(金)は、開店準備

学生たち(15名)が出資をし、3日間の経営に挑む。



出所:Yahoo Japan地図

経緯・背景・目的

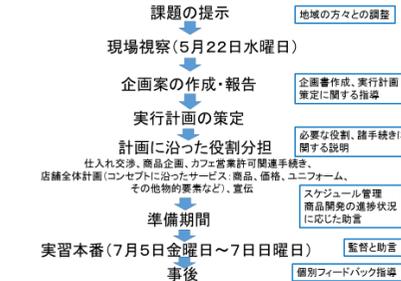
経緯(2014年~)

奈良県吉野町山口は、農林業を営む地区である。過疎化の進むこの地区では、後継者不足と、高齢者の閉じこもりの問題を抱えていた。この地区には、環境省が認定した森林セラピー拠点もあるが、観光客どころか地区の住民もその事実を知らず、活かしきれていない。そこで、観光地域づくりを学ぶ私共のゼミに対し、吉野ビジターズビューローが企画を依頼してきた。

目的

学生たちには、観光の力をつかって地域課題解決に向けた企画提案をし、その提案を自ら実行する。ソーシャルビジネスを体感する。

プロジェクトの工程と教員アクション



取り組む課題

過疎化の進む地域において、

観光の力を使った

- ・高齢者の閉じこもり予防、
- ・森林セラピー拠点の認知、活用方法

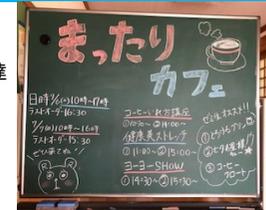
を提案する。



本学(学生)の役割

学生の役割は、

- ・店舗計画(レイアウト、室内装飾)策定、備品調達
- ・商品の企画開発
- ・プロモーション計画と実行
- ・物販のための仕入れ交渉
- ・仕入れ量の確定
- ・カフェの運営



写真左:サービスクセプトに基づく店舗名 右:開発した商品の一つ(桜ワッフル)

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2日間の総売り上げ実績 55,600円
仕入れ備品調達経費 52,322円
延べ来店者数 93名(地区人口約180人)
*住民に好評であった。

学生たちは、

- ・実践的なマーケティング計画策定
- ・ソーシャルビジネスの理解
- ・経営の基本を体験
- ・チームワークビルディング
- ・ホスピタリティの実践
- ・リーダーシップとマネジメントを学んだ。

3日間、寝食を共にし、お互いにそれぞれの良いところを理解し、認め合うような関係を築くことができた。実習終了後も、研究室に集まり、自分の良い点・悪い点を指摘しあっていた。



写真上:喫茶店経営に関する講義、下:開店前の場面

指導教員および関係者の紹介



人間社会学部
観光学科
教授
柏木 千春

専門は、
観光マーケティング、観光
地域づくり

吉野町山口自治区
会長 中井 亘雄 氏

吉野町役場職員OB
山本 茂之 氏

吉野町議会議員
中井 章太 氏

エクストラ珈琲 千田 氏